



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催 〈さくらんぼラウンド〉



H30.6.9in 山形県スポーツ会館 (Sat)

平成30年度 北海道・東北ネットワーク研究会が開催されました。今年度は4年ぶりにさくらんぼの時期に「さくらんぼラウンド」を開催することができました。佐藤豊先生、高橋修一先生をはじめ、30名参加のもと、日中・夜ともに、内容の濃〜い、とても充実したラウンドとなりました。

1 トピックス

国立教育政策研究所 高橋修一先生より、新しい学習指導要領についてお話しいただきました。主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を進めることについてお話の後、小中高の内容について具体的な変更点等について、分かりやすくご説明をいただきました。



2 グループワーク

続いて、「楽しい体育授業づくり」について、参加の先生方でグループワークを行いました。現在の授業の現状や課題について、いろいろ意見交換を行いました。今回は、学生さんや、若い先生方に多く参加いただきましたので、様々な年代の先生の課題などがテーマとして出されたと思います。ただ、意見交換したいテーマは各グループたくさんあったのですが、残念ながらこの後の予定もあり、途中で終了となってしまったのかと思います。申し訳ありません・・・。

しかしその分、夜の情報交流会での意見交換が充実しましたね♪

3 「わかるとできるをつなぐ体育の授業づくり」について

はじめに、佐藤豊先生から今回のワークショップの説明をいただきました。資料で紹介した「さくらんぼ」の各品種の作り方を例に、方法知、具体知、概念知等について、わかりやすく説明があった後、各校種に分かれたグループで、様々な領域の知識について、方法知、具体知等から概念知を導き出すという作業に入りました。各グループでは、若い先生方と中堅の先生方が積極的に意見を出し合いましたが、中々ゴールに到達するまでは至らなかったようです。しかし、ゴールがない中でも、様々な意見を出し合い、お互いに思慮することで、大変充実したワークショップになっていたと思います。



その後、ポスターセッションを行い、各グループで作成した概念知について、意見交換を行いました。意見交換後、各グループで最後のグループワークを行い、頂いた意見を参考に提案の修正を行いました。



4 まとめ

最後に佐藤豊先生から、今回のワークショップは、明確な解答がない中でも、いろいろな意見の中から模索していくことが重要なことである、等のご助言をいただきました。

★7/7(土)宮城県牛タンラウンドです！ふるって御参加ください！！